

【鳴門市行政評価】

平成27年度事務事業評価シート(26年度実績)

◎基本情報

事務事業名		「鳴門で鳴ちゆるうどんを食べよう！」観光PR事業		担当部署	経済建設部 観光振興課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	開始 平成 25 年度	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり				
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと		事業 期間	終 期	未定
(小項目)		観光				
施策	1	観光・交流のまちづくり				
基本事業	1	観光ブランドづくり				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 県外観光客							
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	関西方面から鳴門へ向かう最初のサービスエリアであり、全国のサービスエリアの中でも屈指の規模と来客数を誇る淡路サービスエリアで継続的に観光キャンペーンを行うことにより、観光客増を目指すとともにB級グルメ「鳴ちゆるうどん」PRを行う。							
事業計画	26年度に何を計画していたか	引き続き、毎週土日祝日に淡路SAへ立ち寄る方に対し、観光パンフレット・鳴ちゆるうどん割引券付きチラシを配布することにより、本市の観光PRとB級グルメ「鳴ちゆるうどん」のPRを年間を通して行う。 鳴門「鳴ちゆるうどん」研究会と連携し、県内外のイベントへ出展するとともに、テレビ番組で取り上げてもらう機会を創出することにより、鳴門が誇るB級グルメ「鳴ちゆるうどん」のPRを行う。							
成果目標	事業目標の達成度合	指標名		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位
		観光入込客数		2,350,000	2,400,000	2,450,000	2,500,000	2,500,000	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	26年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	鳴ちゆるうどんのPRを行うために、淡路サービスエリアや、徳島ヴォルティスのホームゲーム等で、県外の方を対象に、鳴ちゆるうどん割引券付きチラシの配布を行った。							
事業実施手法		<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
		指標名		25年度実績	26年度実績	27年度目標	28年度目標	29年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	割引券利用人数		689	702	750	800	800	人
	2								
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	観光入込客数		1,843,242	1,945,431	—	—	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)			81.1	—	—	—	—	%
今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり			

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額	0	0	0	0	874	874
		全体予算額	0	0	0	0	874	874
		決算額	0	0	0	0	369	369
		繰越額	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員(6,878千円/人)	臨時職員(2,023千円/人)	総人件費		総事業費		
	0.1		688		1,057			

【鳴門市行政評価】

【事務事業名:「鳴門で鳴ちゆるうどんを食べよう!」観光PR事業】
(千円)

年度	25年度決算	26年度決算	27年度	28年度	29年度	
事業費推移	事業費	394	369	397	397	397
	うち一般財源	394	369	397	397	397
	人件費	652	688	688	688	688
	総事業費	1,046	1,057	1,085	1,085	1,085

◎項目別評価(CHECK)

評価項目	評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった サービスエリアでパンフレットの配布を行うことで、県外の方に広く周知ができた。
	効率性	B:概ね効率的だった 様々なキャンペーンに合わせて、鳴るちゆるうどんのPRを行った。
②成果に対する評価	指標名	観光入込客数
	目標	2,400,000 人
	実績	1,945,431 人
	評価	B:概ね目標を達成できた
③総合的な評価	B	目標人数に到達しなかったため、B評価とする。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	様々な機会を活用して、継続的にPRしていくことで、鳴るちゆるうどんのおいしさをより多くの方に知ってもらおうこととなるため、PRの手法を検討する必要がある。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H27年度	県外の方にも鳴るちゆるうどんを知ってもらうためにも、徳島ヴォルティスのアウエーゲーム等も活用して、周知を図る。			
	H28年度	H27年度の状況を勘案して、事業内容を検討する。			